

● 27～28日、バセク・ルーマニア大統領のモルドバ訪問

A. 主な動き

1. 内政

▼政党の動き

- ・26日、共産党青年同盟(コムソモール)参加者約100名が、共産党を離党し、「統一モルドバ」に加盟すると発表。
- ・25日、ウンティラ元「我々のモルドバ」同盟副代表は、欧州アクション運動代表に就任。

▼その他

- ・25日、検事総局はヴォローニン前大統領を召喚、4月7日の暴動について事情聴取を実施。

2. 沿ドニエストル

▼沿ドニエストル合同委員会(JCC)

- ・29日、ベリャコフ沿ドニエストルJCC副議長は、沿ドニエストルはロシアに対し、現在1,500人以下のロシア軍駐留部隊を2,400人規模に増大させるよう要求していると発言。

▼その他

- ・26日、オシボフ副首相とヤストレブチャク「外相」は、2月前半に2者の作業部会コーディネーター会合の開催を合意、ウィーン及びベンデリ会合の合意事項の実行を協議、また「5+2」者会合早期開催に向けたOSCE議長国カザフスタンのイニシアチブを歓迎。

3. 経済

- ・26日、フィラト首相は、光熱費の値上げに対する食料品の便乗値上げを監視するため税関から市場までの価格を調査するよう関係機関に対して要請。
- ・26日、キシナウ市議会の住宅委員会は2月及び3月に全てのキシナウ市民に対して、収入にかかわらず暖房補助金を支払うことを提案。
- ・26日、2009年の農業生産高は前年比9.9%減と国家統計局が発表。
- ・26日、沿ドニエストルの2009年度の工業生産高は2008年比31%減の7億2020万ドルであったと沿ドニエストル「経済省」が発表。なお、部門別ではエネルギー分野に於いてモルドバ及びルーマニアへの輸出により前年比2倍に増加し2.8億ドルとなったものの、鉄鋼分野で前年比58.3%の減少となり、1億9529万ドルとなった。建築資材分野においては前年比70.4%減と最大の減少幅。
- ・26日、EBRDはモルドバの2010年のGDP予測値を1.5%から4%へ改善。世界経済の回復、特に露及びモルドバにおける経済復興等が理由。
- ・28日、世界銀行は2010年に8000万ドルをモルドバに対

して供与と発表。同資金は競争力強化や社会・健康保護関連プロジェクトに利用される予定。

- ・29日、IMF理事会はモルドバに対する計5億7700万ドル相当の2つの支援拡大クレジットファシリティ(ECF、無利息)及び拡大信用供与措置)を承認。モルドバがECFを受け取る最初の国となった。

4. 外政

▼25日、バコンスキ・ルーマニア外相発言

- ・バコンスキ外相はブカレストで行われた行事で、ルーマニアは、モルドバにはルーマニアと異なる民族と言語が存在するとの見方を、明確な科学的根拠に基づき否定すると発言。モルドバ共産党は反発し、バセク・ルーマニア大統領のモルドバ訪問に抗議。

▼27～28日、バセク・ルーマニア大統領のモルドバ訪問

- ・ギンブ大統領代行及びバセク・ルーマニア大統領は、麻薬密輸、犯罪対策、その他に関する協力宣言に署名。

[記者会見に於けるギンブ大統領代行発言]

- ・沿ドニエストル問題は「5+2」フォーマットで平和的に解決されるべき。ロシアの軍隊、軍備、兵器がモルドバ領から撤収しない限り、同問題は解決され得ない。

- ・「沿ドニエストルが特別な地位を獲得するまで軍は駐留すべき」とのカラーシン露外務次官発言は国内問題と対外的問題を取り違えている。

- ・NATO加盟はモルドバ新政府にとっての必須目標ではなく、同問題は国民投票により決定されるべき。

[バセク・ルーマニア大統領発言]

- ・近日中に協力協定署名で両国は合意し、モルドバのEU統合が加速化する見込み。

- ・ルーマニアはソ連から継承したモルドバ国境を認めるが、国境線を見直す協定には署名しない。

- ・ルーマニアは国籍再取得手続きを簡素化し、国境地域住民の相互訪問手続きを簡素化する。

- ・1億ユーロの対モルドバ金融支援を決定。

- ・沿ドニエストル地域へのロシア軍駐留は紛争解決に寄与せず、EUはのより積極的な役割を期待。

- ・モルドバのNATO加盟はモルドバ自身が決めるべき事柄。

▼29日、ウクライナ・モルドバ国境第1号標識の設置

- ・ポロシェンコ外相、レアンカ副首相兼外務欧州統合相、駐

ウクライナ外交団長(スペイン大使)、EU代表部、EUBAM
(駐モルドバ・ウクライナEU国境支援ミッション)の代表が参

加。場所はヴィンニツァ州ヤンビリ地区ヴェリカ・キスニツァ
村。

B . その他の動き

1 / 28 (木)

・約50人の市民が、モルドバ軍をアフガニスタンに送らない
よう求め政府庁舎前で抗議活動。今月初旬フィラト首相は、モ

ルドバ軍はアフガニスタンを含め理論上海外における平和維
持任務に参加し得ると発言していた。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)